

令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金）実施事業一覧

（単位：円）

事業No.	事業名	所管課	事業内容	計画事業費	実績事業費	うち交付金充当額	目標値	効果・成果
1	二本松市電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業【低所得者世帯給付金】	福祉課	エネルギーや食料品価格等の物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への負担軽減を図るため、コロナ禍における物価高騰対応事業として給付金を支給した。	139,435,000	139,082,564	139,082,564	助成対象4,800世帯の給付を完了させる。	エネルギーや食料品価格等の物価高騰の負担感が大きい低所得世帯の負担軽減につながった。 ※支給世帯数：4,618世帯
2	令和5年度住民税非課税世帯に対する物価高騰対応緊急支援事業	福祉課	コロナ禍における原油価格や物価の高騰による影響を緩和するため、福島県が行う「物価高騰対応生活困窮世帯緊急支援事業補助金」へ上乘せし、住民税非課税世帯に電気やガスなどの光熱費等を支援した。	34,750,000	23,211,647	23,211,647	助成対象3,425世帯の給付を完了させる。	原油価格や物価の高騰による住民税非課税世帯に対する影響の緩和につながった。 ※助成世帯数：3,304世帯
3	保育所等物価高騰対策支援事業	子育て支援課	コロナ禍における原油価格高騰やウクライナ情勢などにおけるエネルギー・食料品の物価高騰の影響を受けている保育所等施設運営事業者に対し、高騰分影響額の一部を支援した。	7,162,000	6,886,800	6,886,800	市内16施設の電気代及び877人分の副食費を補助することにより施設利用者の経済的負担の軽減を目指す。	市内16施設の電気代及び877人分の副食費の一部を助成、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることができた。
4	畜産飼料価格高騰対策臨時支援金	農業振興課	コロナ禍における畜産飼料の価格高騰により、経営が逼迫している畜産農家等に対して、飼料価格の一部を支援した。	32,132,000	28,684,875	28,684,875	のべ178戸の畜産農家等に対して支援を行う。	離農等を除く対象農家162戸のうち、144戸からの申請を受け支援を行うことで、畜産経営に対する影響緩和につながった。
5	土地改良区への電力価格高騰対策事業①	農業振興課	コロナ禍における燃料高騰による電力価格改定等の影響を受けている土地改良区に対し、電気料高騰分影響額相当分を支援する予定であった。	1,035,000	0	0	なし	電気料高騰による施設維持管理経費への影響がみられなかったため交付金措置無し。
6	土地改良区への電力価格高騰対策事業②	農業振興課	コロナ禍における燃料高騰による電力価格改定等の影響を受けている土地改良区に対し、電気料高騰分影響額相当分を支援する予定であった。	2,365,000	0	0	なし	電気料高騰による施設維持管理経費への影響がみられなかったため交付金措置無し。
7	土地改良区への電力価格高騰対策事業③	農業振興課	コロナ禍における燃料高騰による電力価格改定等の影響を受けている土地改良区に対し、電気料高騰分影響額相当分を支援する予定であった。	1,847,000	0	0	なし	電気料高騰による施設維持管理経費への影響がみられなかったため交付金措置無し。
8	プレミアム付商品券発行事業	商工課	コロナ禍における物価高騰の影響を受けている市民の生活を支援するため、二本松商工会議所が実施する商品券事業において、プレミアム分及び運営費の一部を補助し、経済波及効果・市民生活の支援を図った。	18,300,000	17,514,270	17,514,270	商品券5,000万円分の完売。商品券利用による6,500万円の経済波及効果を見込む。	プレミアム付商品券を発行し、商品券使用による市内経済の活性化及び付加価値による購買意欲の向上につながった。総申込数1,756通（当選者1,046名）プレミアム分を含む商品券発行額65,000千円
9	商工会抽選券発行事業	商工課	コロナ禍における物価高騰の影響により落ち込んだ中小企業を支援するため、2000円毎に1枚抽選券を発行するあたら商工会に発行経費を補助した。	1,000,000	1,000,000	1,000,000	応募で5,000千円（2,000円×2,500件）、賞品代1,000千円の合わせて6,000千円程度の波及効果を見込む。	応募総数3,376件であったため、6,752千円の売上げ、商品総額996千円、印刷等経費174千円を合せ7,922千円の経済効果があった。
10	「Nihonma to summer festa in Nihonmatsu」の開催	商工課	アフターコロナにむけ地域経済の継続化と地域産業の良さを再発見するためサマーフェスティバルを開催する二本松商工会議所青年部に対し経費の一部を補助した。	1,500,000	1,500,000	1,500,000	来場者2,000人 売上3,000千円	こども縁日体験、ステージイベント、キッチンカーや屋台の出店などを行い、多くの人が楽しむことができた。アフターコロナの地域の交流イベントとして効果があった。来場者2,000人、売上は339千円であった。

事業No.	事業名	所管課	事業内容	計画事業費	実績事業費	うち交付金充当額	目標値	効果・成果
11	二本松PR実行委員会商店街LINEスタンプラリー補助	商工課	アフターコロナにむけ地域経済の継続化と商店街の良さを再発見するためLINEスタンプラリーを開催する二本松PR実行委員会に対し経費の一部を補助した。	1,000,000	1,000,000	1,000,000	イベント参加者1,500人	市内飲食店を3店舗まわるスタンプラリーを二本松PR実行委員会が実施した。アフターコロナに向けて市内飲食店のPRにつながった。 スタンプラリー実施期間（R6.3.4～R6.3.16）13日間 スタンプラリー参加飲食店45店舗、 スタンプラリー参加者206人
12	酒の街二本松支援事業	商工課	アフターコロナに向けて、特産である二本松の日本酒の販路拡大を図るため、酒の街二本松支援事業として、二本松の酒の良さをPRした。	1,550,000	1,137,226	1,137,226	R5.8地場産品フェアin新宿 来場者1,500人 R5.11地場産品フェアin浅草寺 来場者5,000人 R5.10.1日本酒の日 イベント参加者300人以上 R6.2日本酒まつり イベント参加者300人以上 市内飲食店、酒小売店へのPR ポスター等配布 300店舗	全国的な物産展及び地元で開催される日本酒イベント時に二本松の酒をPRし、アフターコロナに向けて販路拡大につながった。 【地場産品フェアin新宿（R5.8.29～30）】 来場者1,214人 【地場産品フェアin浅草寺（R5.11.25～26）】 来場者30,000人 【日本酒で乾杯2023in二本松（R5.10.1開催）】 参加者307人 【二本松酒まつり（R6.2.10開催）】参加者272人 【二本松の酒PRポスター、机卓上POP、PRテーブルクロス作成】ポスター及び卓上POPは市内飲食店及び酒小売店へ配付300店舗
13	まちなびカード発行事業	商工課	アフターコロナに向けて、地域産業のイメージ・認知度向上を図るため、特産品等を取扱う店舗、飲食を提供する店舗等を案内する特典付きのカードを作成し、売上の増加を図る。	550,000	291,500	291,500	・1店舗あたり1,000枚作成し、R6.3月末までに全て利用されることを目指す。	・24店舗、各店舗1,000枚、計24,000枚作成。利用枚数は8,705枚であり、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ来客数が増え、売上増加につながった。
14	秋の二本松物産の開催	商工課	アフターコロナに向けて、伝統的な地場産業のイメージ向上や優良点の再発見を図るため、秋に物産展を開催する二本松物産協会に対し補助した。	2,528,000	2,334,350	2,334,350	商品購入による経済波及効果 15,000千円以上	・物産展の売上が14,696,821円あり、市内の経済効果を創出できた。
15	勤労者研修センターエアコン省エネ化改修事業	商工課	市民が有料で利用する勤労者研修センターの研修室のエアコンを省エネ化改修することにより、コロナ禍により高騰する電気代を抑え、利用者への使用料金への転嫁を防止した。	2,386,000	1,760,000	1,760,000	電気代を48%削減、CO2排出量1,252kgCO2/年削減する	・1階和風研修室及び2階第一研修室のエアコンを省エネ化改修し、猛暑で電気の使用量が多くなる中、前年並みの使用量に抑えることができた。
16	新ビジネス展開促進事業	商工課	新型コロナウイルスの拡大の影響により落ち込んだ市内経済の早期回復を図るため、アフターコロナに向け本格的に新たなビジネス（キッチンカー等）の展開に取り組む費用に対して補助金を交付した。	11,500,000	6,767,000	6,767,000	・各事業者のコロナ感染拡大期の売上よりも事業実施による売上が増加を目指す。	・補助採択者10者 ・新事業展開による新たな販路の開拓に対して支援し、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の早期回復に貢献することができ、売上の増加につながった。

事業No.	事業名	所管課	事業内容	計画事業費	実績事業費	うち交付金充当額	目標値	効果・成果
17	学校バス旅行助成事業	観光課	コロナ禍により高騰するバス借上料に関し、学校に対し教育旅行へのバス代補助を行い、保護者らの負担を軽減するとともに、市内宿泊を補助の条件としているため観光業の回復に寄与した。	1,980,000	1,470,000	1,470,000	バス代補助33台	バス代補助26台の利用があり目標値には至らなかったが市内宿泊施設または市内施設等を利用する学校関係のバス旅行に助成することで、当市を起点とした修学旅行や宿泊学習等の推進を図ることができた。また九州地方の学校の利用があり、今後の教育旅行の販路拡大のための一助となった。
18	秋の観光定額タクシー助成事業	観光課	秋の観光シーズンに合わせ、市内観光施設への誘客を促進するタクシー事業者にタクシー料金の一部補助を行い、新型コロナの影響により落ち込む観光需要の回復を図った。	900,000	328,090	328,090	タクシー利用補助1,000台	秋の観光シーズンに、二本松駅から市内観光地（霞ヶ城公園、二本松の菊人形会場）を巡回するタクシーに対し助成を行い、10月から11月の期間中にタクシー利用補助733台の利用があった。天候の影響などから目標を下回る結果だったが、まちなか観光の推進に一定の効果が得られた。今後の中心市街地の活性化と観光振興を両立させる取り組みの一つとなった。
19	道の駅安達大感謝祭事業補助	観光課	コロナ禍による物価高騰対策として、物流コストの抑制が期待できる地場製品の消費拡大を図るため、多数の生産者が産品を出荷する道の駅安達へ補助を行い、地場製品の販売会を実施した。	2,684,000	2,740,000	2,740,000	30,000名の来場客及び5,000,000円の売上を見込む。特設ステージにてキャラクターショー等を行い、店舗ごとに特別サービスを行う。	当日は激しい大雨に見舞われたため、目標に及ばなかったが12,000名の来場客と3,700,000円の売上が得られた。地元野菜生産者と連携し、直売所にて秋の地元野菜使用のイベントを開催したほか、地元商工会青年部等によるうまいもの屋台、手作りマルシェ・ハロウィンパーティ等を実施し、今後の交流人口の増大に寄与する成果があった。
20	学校給食費物価高騰対策	教育総務課	コロナ禍における原油価格・物価高騰対策として、保護者が負担すべき給食食材の高騰分（賄材料費の増分）に交付金を充当した。	24,721,000	22,381,019	22,381,019	・保護者に追加負担を求めない。 ・質及び量を落とさずに給食の提供ができる。	令和5年度途中に、物価高騰により賄材料費単価を見直しを行ったが、交付金を充当することで、「保護者に追加負担を求めない」「質及び量を落とさずに給食の提供ができる」の2目標を達成することができた。
21	子育て支援給付金	子育て支援課	コロナ禍により物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減を図るため、18歳以下の児童一人当たり2万円の子育て応援給付金を支給した。	146,797,000	204,514,718	136,343,146	支給対象児童7,038人について100%の支給を目指す。	6,818人分（96.9%）支給した。
22	子ども・子育て支援交付金	子育て支援課	学童保育事業を行う際の新型コロナ感染症対策として消毒用消耗品等を購入した。	227,000	226,904	224,968	施設内感染者0を目指す。	施設内感染者は発生しなかった。
23	学校感染症対策事業	教育総務課	感染症流行下において、各学校が感染症の影響を最小限に止めつつ学校教育活動を継続できる環境を維持するため、学校の感染者及等の発生に伴う対応やその後の教育活動継続等に要する取組及び学校における効果的な換気対策に係る取組を実施することができるよう、学校へ感染症対策等費用を補助し、うち自治体負担となる1/2相当分に交付金を充当した。	22,500,000	12,336,062	6,168,062	新型コロナウイルス感染症流行下においても市内小中学校（23校）における学校教育活動を継続する。	・感染者発生時の消毒対応や家庭学習対応により、感染症の拡大を防ぐことができた。 ・換気対策を取ることで、効果的に換気を行いながら教育活動を継続することができた。
合計				458,849,000	475,167,025	400,825,517		